

TREE RISK ASSESSMENT

科学的根拠に基づき、
都市樹木の「安全」と「価値」をマネジメントする

Science-Based Management of Urban Trees

Mission & Philosophy

私たちの使命

Philosophy

企業理念

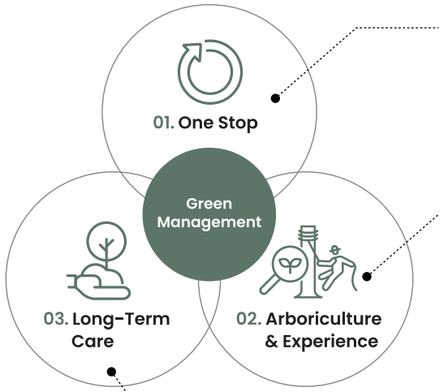
都市の景観に付加価値を
人と都市をグリーンでつなぐ

Toshi（都市の住環境）におけるLandscape（景観・風景）を、GREEN MANAGEMENT（植栽の育成管理・植栽資産への付加価値管理経営）を通じてお客様と創造し、居心地の良い空間づくり、ライフスタイル・資産価値の向上をグリーンで提供します。

The core of “GREEN MANAGEMENT”

GREEN MANAGEMENTとは

プランニングから現場施工まで、長期的な視点で植栽を統合管理し、建物の景観と資産価値を継続的に高めるトシ・ランドスケープ独自の植栽管理手法です。



01. 自社で一貫した管理

相談から施工まで自社一貫。
スピーディーかつ適正価格で、品質を守ります。

02. 科学的な知見（アーボリカルチャー）と現場経験の融合

樹木医の知見とツリークライミングを融合し、
科学的根拠のある管理で樹木を守ります。

03. 長期的な植栽管理の計画・プランニング

数年～数十年先を見据えた計画管理で、
景観と資産価値を持続・向上させます。

The Synergy

3つの専門性が交わる、当社ならではの強み。

3部門は独立して動くのではなく、常に並走し互いの専門性を補い合います。樹木診断、景観設計、現場実行。
すべての視点が一つの案件に重なることで、単独ではたどり着けない解を生み出します。



1 GREEN MAINTENANCE
実行力

高度な技術で植栽の健康と美観を
現場から支える実行の核。

3 LANDSCAPE CONSULTING
構想力

長期の景観と資産価値を設計し、3部門の
専門性を戦略へ統合する。

2 TREE RISK ASSESSMENT
診断力

樹木医の知見と診断機器で、目に見えない
リスクを可視化し、判断の根拠を作る。

TREE RISK ASSESSMENT

ツリーリスクアセスメント部門

「経験」に「科学」を。
見えないリスクを、大切な緑を
守るための「根拠」へ。

都市の樹木が抱えるリスクは、外観だけでは判断できない。
樹木医の知見と樹木診断機器を組み合わせ、内部をデータで可視化。
「感覚」ではなく「根拠」で、大切な緑の安全を守ります。

Features

4つの特徴

01. 街路樹・都市樹木診断士による高度な知見
樹木医・街路樹・都市樹木診断士・植栽基盤診断士が在籍。
都市特有の厳しい環境でも、資格に裏づけられた診断・提案を行います。

02. 専門機器による「高精度な内部診断」
外観では見えない樹木内部の空洞や腐朽を機器で解析し、データに基づいた客観的な診断を提供します。

03.「伐る・残す」の最適解を導く、多角的な提案
安全のために伐採すべきか、景観として残せるか。リスク評価をもとに、最善の選択肢を提示します。

04.「自社一貫体制」による、診断から処置へのスムーズな連携
診断から治療・剪定・土壌改良までを自社で行うため、診断の結果をすぐ処置につなげられます。数年先を見据えた管理計画もご提案します。

Business Field

事業領域



Tree Diagnosis
樹木診断
樹木医が樹木の状態・内部腐朽・潜在リスクを総合評価し、対応策を提案します。



Soil Survey
土壌調査
成長を阻む土壌問題を調査し、健全な植栽基盤への改善策を提案します。



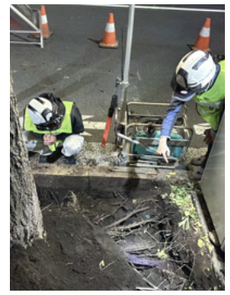
Tree Recovery
樹勢回復
衰弱した樹木も、まず原因を特定してから判断します。樹木医の知見と土壌改良技術で、伐採に頼らない選択肢を提示します。



Chemical Control
ケミカルコントロール
目的と環境に適した薬剤を選定し、雑草の繁茂を計画的に抑制。植栽の健全な生育環境を守りながら、長期的な美観を維持します。



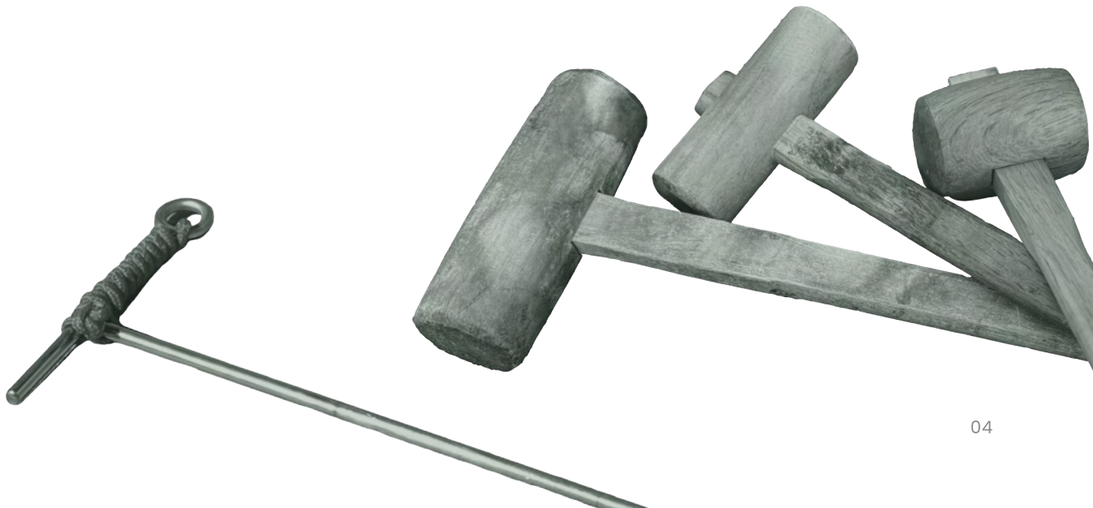
High Altitude Tree Diagnosis
高所樹木診断
クライミング技術・ドローンを活用し、地上からは確認できない高所の異常を診断します。



Root System Exploratory Survey
根系試掘調査
圧縮エア式スコップで根を傷めずに掘り出し、根系状況を把握。
工事と樹木保全の両立を支援します。



Transplant Suitability Assessment
移植適性度診断
電線や植え桝の広さなど、都市部ならではの条件から移植の可否を判定。樹木の状態と根系から最適な手法を導きます。



Tree Risk Assessment Process

樹木診断の概要とフロー

人や日々の生活の安全を守るための優先順位と、科学が導く「根拠」ある管理。

すべての樹木を均一に診るのではなく、段階的・戦略的に。
限られたリソースで最大の安全を確保する診断プロセスです。

Tree Doctor/Street Tree Inspector

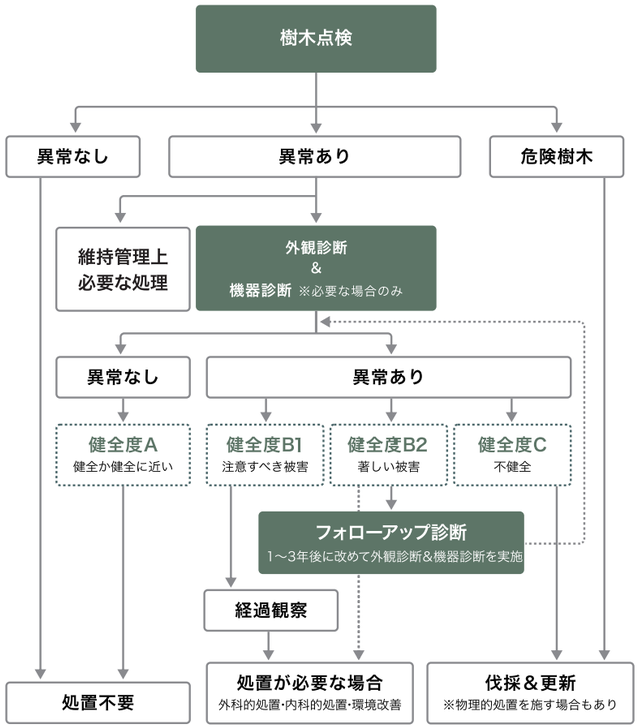
樹木医・街路樹・都市樹木診断士について

樹木医 一般財団法人日本緑化センターが認定する資格。樹木の診断・治療・土壌改良など、保護と育成を専門とする。
街路樹・都市樹木診断士 一般社団法人街路樹・都市樹木診断協会が認定する資格。街路樹の点検・診断と管理計画の立案を専門とする。都市環境における安全管理と景観維持を担う。

Diagnosis Step

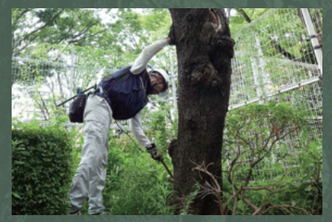
診断ステップ

樹木点検・外観診断・機器診断の段階的なフローにより、都市樹木の状態を正確に把握します。
東京都建設局の令和3年度 街路樹診断等マニュアルに準拠しています。



Diagnostic Method

診断方法



樹木点検（広域スクリーニング）

対象　全樹木（3m以上の高木）

目的　葉の状態・キノコの有無・傾きなどを確認し、外観診断が必要な樹木を早期に抽出します。



外観診断：樹木医による「視診・触診」

対象　樹木点検で「異常あり」とされた樹木

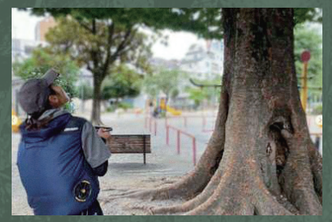
目的　樹木医が目視と木槌の打診などで、樹木の活力と部位ごとの状態を診断。健全度をA・B1・B2・Cの4段階で判定します。



機器診断：内部状態の可視化

対象　外観診断で「内部腐朽や空洞等の疑い」があるとされた樹木

目的　レジ(Resi PD)・アーボソニック3D・ピカスで内部の腐朽・空洞を可視化し、科学的データとして提供します。



フォローアップ診断：継続的な経過観察

対象　B2判定の樹木

目的　処置後1〜3年の間隔で経過を追跡し、リスクが解消されるまで継続的な安全監視を行います。

High Altitude Tree Diagnosis

高所樹木診断

ロープワーク（ツリークライミング）やドローンで地上からだけでは確認できない樹木の状態を診断します。



Soil Survey

土壌調査

見えない「土の中」に、不調の真因がある。

枯れる、育たない、元気がない——その原因の多くは地中に潜んでいます。
土壌を科学的に調査し、根本から改善します。



About Planting Substrates

植栽基盤について

根が伸び、水分・養分を吸収できる土層が植栽基盤。
都市部では土壌の締固めやコンクリート混入が多く、
見た目には気づきにくい生育障害が潜んでいます。

Survey Items

調査項目

根のSOSの原因を特定するため、以下の科学的アプローチを実施します。

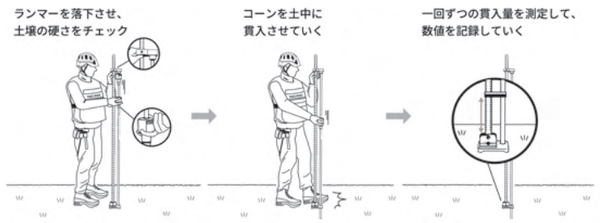
Soil Hardness

土壌硬度

(長谷川式土壌貫入硬度計)

貫入抵抗から土壌硬度を連続測定。根系が物理的に伸長できる環境かを数値で評価します。

【土の硬度調査イメージ】



Permeability

透水性

(長谷川式簡易現場透水試験)

現場で水の通りやすさを直接計測。透水性の低下は根腐れや樹勢衰退を招くため、排水リスクを正確に判定します。

【土の透水調査イメージ】



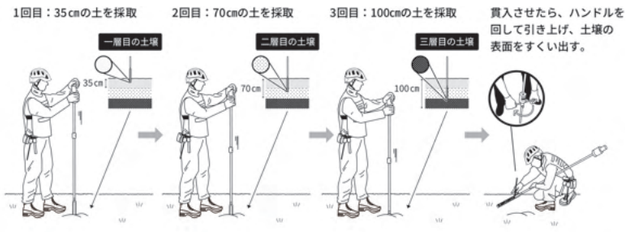
Soil Profile & Root System

土壌断面・根系

(土壌断面調査・大型検土杖)

土壌をサンプリングし、層の重なりや不透水層の有無を直接確認します。

【土層調査(サンプリング)イメージ】

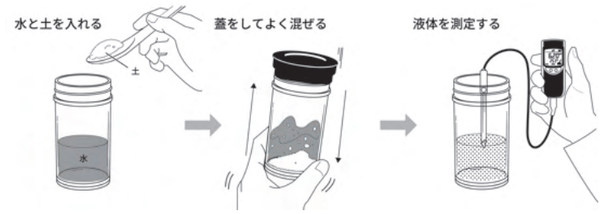


pH・EC

pH・EC

土壌の酸性・アルカリ性の度合い(pH)と、肥料分などの塩類の濃さの目安となる電気伝導度(EC)を測定し、植物の生育に適した化学的環境かを評価します。

【pH・EC 測定イメージ】



Tree Recovery

樹勢回復

樹木の衰退には原因があります。根本から原因を特定し、
樹木が自ら回復する力を引き出す生育プログラムを提案
します。

Tree Recovery

樹勢回復について

土壌問題・気候変動・狭小な生育環境
――活力が損なわれた都市の樹木に、
3つの視点からアプローチします。

視点 01
土壌の物理的・化学的状態を改善し、根が伸びやすい環境を
整えます。

視点 02
土壌改良と外科的処置を組み合わせ、
樹勢の回復を図ります。

視点 03
回復は一朝一夕ではありません。定期的な経過観察と施術で、
長期的な生育を支えます。

Soil Improvement

土壌改良手法

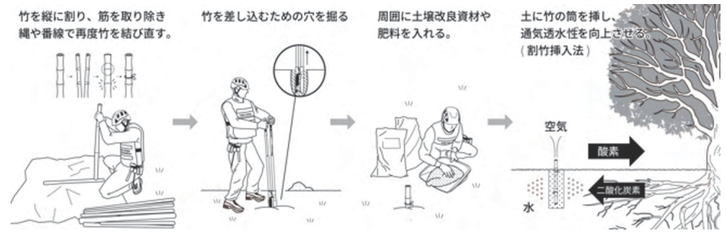
Split Bamboo Insertion Method

割竹挿入法

通気透水性

竹を土中に挿入し、通気性・透水性を改善。根が伸びやすい環境に整えます。

【土壌改良イメージ】



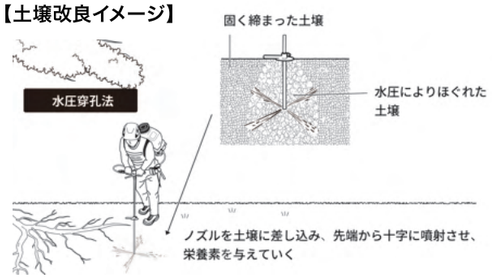
Hydraulic Boring

水圧穿孔法

固い土壌をほぐす

水圧の力で締め固まった土壌に空間を作り、根の伸長を促す改良工法です。

【土壌改良イメージ】



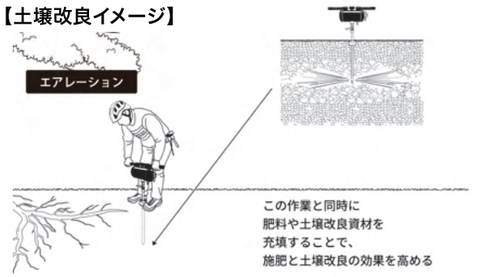
Aeration Method

エアレーション法

空気の通り道をつくる

圧縮空気で土壌に孔をあけて空気の通りを改善し、根の再生を促します。

【土壌改良イメージ】

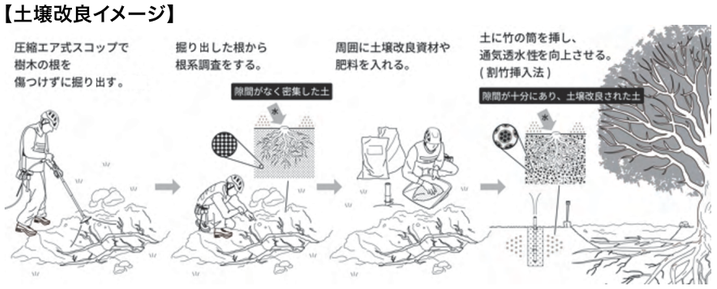


Pneumatic Shovel

圧縮エア式スコップ

圧縮空気の力で根を傷めずに土を掘り起こし、根系の確認と土壌改良を行います。

【土壌改良イメージ】



Root System Exploratory Survey

根系試掘調査

根を知り、都市と樹木の未来を守る。

倒木リスクや地下インフラへの影響は、地中の根の状態に起因します。根を傷めずに掘り出し、地中の実態を正確に把握します。

Trial Excavation Methods

試掘手法



圧縮エア式スコップ

圧縮空気で根を傷めずに土壌を掘り出し、根の分布・健全性・周辺構造物との関係を可視化します。

調査事例



CASE 01

下水道施設の撤去新設工事に伴う街路樹周辺掘削工事の立ち会い診断

掘削作業に立ち会い、根の剪定や温存の判断、適切な防腐処理を行います。



CASE 02

無電柱化・電線共同溝工事に伴う根系調査立ち会い診断

大規模地中工事において根の状態を正確に調査し、最適な施工ルートを検討します。



CASE 03

千葉 試験植林地 ユーカリ根系調査

樹木の根系を科学的に調査し、将来の植栽・施工に活用するデータを取得します。

Transplant Suitability Assessment

移植適性度診断



樹木の健康状態・根系の広がり・周囲環境を総合評価し、移植の可否と最適な手法を科学的に判断します。

移植の成否を分ける「6つのチェックポイント」

都市部特有の制限を考慮し、リスクを最小限に抑えるプランを提案します。

01. 現在の樹木と根系の状態

発根点や根の伸長状況を確認し、現在の根系の状態を把握します。

02. 現在の植栽環境

乾燥・過湿・日照などへの適応性から、移植の可能性を評価します。

03. 移植時期の選定

樹種・状態に応じた最適な移植時期を判定します。

04. 根回しの有無

移植前に根を切り準備する「根回し」の必要性を判断します。

05. 根鉢寸法の確保

根鉢の確保方法・搬送計画など、適切な移植手法を検討します。

06. 移植先の環境

移植先の広さ・土壌・日照を確認し、新しい環境でも健全に育てる計画を立てます。

調査事例　インフラ整備や開発に伴う、多様な移植の課題をサポートしています。



CASE 01

歩道の切り下げ工事に伴う移植適性度診断

街路樹の根の伸長状況を確認し、工事と共存できる適切な処置を検討します。



CASE 02

根系試掘調査に伴う移植適性度診断

建設工事に際し根の状態を調査し、移植の可否を診断します。



CASE 03

一般的な移植目的の移植適性度診断

樹木が移植工事に耐えられるか、健康状態や周囲環境を評価します。



Chemical Control

ケミカルコントロール

除草剤・発芽抑制剤で雑草の発芽と成長を抑えることで、
美観を保ちながら、除草の手間とコストを減らします。

Herbicide

除草剤



茎葉処理剤

雑草の茎・葉に直接散布し、今生えている雑草を枯らします。



土壌処理剤

土壌表面に散布し処理層を形成。雑草の発芽を未然に防ぎ、効果が一定期間続きます。

ケミカルコントロールの利点



安全性

01. 登録を受けた農薬の使用

農薬取締法に基づき農林水産大臣の登録を受けた製品を、ラベルに記載された使用方法を守って使用します。

02. 適切な使用方法

適切な濃度・散布方法で使用し、環境への影響を最小限に抑えます。

03. 安全対策と事前告知

散布前に住民へ告知し、人やペットがいる時間帯を避けて実施します。

法面緑地の雑草管理（神奈川県） マンション

現状課題 **草刈りの負担**

法面のチガヤなど草丈の高い雑草が繁茂し、月１回の草刈りが居住者に大きな負担となっていました。

解決策 **除草剤散布（年2回）**

茎葉処理剤と土壌処理剤を組み合わせた年2回の散布を実施。

効果 **作業・コスト負担の軽減**

草刈り頻度が月1回から2〜3か月に1回へ減少。手間と費用を抑えています。

使用薬剤

MCPP、シバゲン、トリビュート、ターザインプロDF、フルハウスターフフロアブル、石原ザイトロンアミン、ワンサイドP、ブラスコンM液剤、ハイバーX、ラウンドアップマックスロード、バスタ、カソロン

Company Profile

会社情報・実績

企業概要

社名	株式会社トシ・ランドスケープ
資本金	2,500万円
設立	2018年3月
代表者	代表取締役 中村雅俊
従業員	21名(2026年10月 現在)
所在地	**恵比寿 HEAD OFFICE** 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-12 **久が原 OFFICE / YARD** 〒146-0084 東京都大田区南久が原2-31-28 恵ビル1F **杉並 OFFICE / MATERIAL BASE** 〒166-0012 東京都杉並区和田3-10-1-201
加入損害保険	AIG損害保険株式会社 賠償責任保険(企業用) 対人3億円 対物3億円 AIG損害保険株式会社 業務災害総合保険 ハイパー任意労災
保有資格	樹木医 / 街路樹・都市樹木診断士 1級造園施工管理技士 / 1級土木施工管理技士 1級造園技能士 / 植栽基盤診断士 屋上緑化コーディネーター / 自然再生士 松保護士 / 東京都農薬管理指導士 二等無人航空機操縦士
取引先	Olympicグループ（OSCクリンネス） 住友林業緑化 / 積水ハウス / 大京アステージ 大和ライフネクスト / 東急コミュニティ 東邦レオ / 日本管財 / 日本ハウズイング 野村不動産パートナーズ / 長谷工コミュニティ ファーストリテイリング / ベースフード マッシュホールディングス 三井不動産レジデンシャルサービス 三菱地所コミュニティ / ミノラス不動産 リシュモンジャパン / 日建設計 ウッディーコイケ
許認可	特定建設業許可 東京都知事 許可（特-8）第156849号 産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号 第13-00-215607号 古物商許可 登録番号 渋谷23-082223

施工実績

マンション	ヴェレーナグラン赤羽北ザ・マークス / インペリアル浜田山 / 御苑レジデンス / 落合ハイム / グランドメゾン西麻布 グランドメゾン杉並シーズン / グランドメゾン多摩川 / グランフォルム六番町 / グレイスコート御殿山 グローリオ南阿佐ヶ谷 / コスモアクアージュ東京East / コスモ中目黒 / ザ・パークハウス追浜 / ザ・パークハウス大崎 ザ・ライオンズ上野の森 / サンビューハイツ白金台 / ジオ南青山 / ジェイパーク恵比寿 / 自由が丘アンクレー セルテシティオ世田谷烏山 / 多摩リバーサイドハウス / テラス笄町 / トーア久が原ガーデン / ドムス小石川 パーク・コート恵比寿ヒルトップレジデンス / パークタワー西新宿エムズポート / ピアーズ用賀レジデンス / プラウド元住吉 東急ドエルプレステージ池田山 / ベイクレストタワー / メイツ深川住吉 / リジェ奥沢エスト リジェ御殿山 / ブルーサンクポイント / ルフォン中野上鷺宮 / レーベンリゾシアヴェスティブルー レスティ恵比寿 / エステシティ湘南六浦 / 藤和マノワール上用賀
法人	東京アメリカンクラブ / （株）ファーストリテイリング（有明本部） / （株）イノベーションファクトリー（東雲工場） （株）OSCクリンネス / ベースフード（株） / 医療法人財団厚生会古川橋病院 / 社会医療法人財団正明会山田記念病院 三菱自動車工業（株）津田山オートスクエア / 日本テクサ（株） / 公益財団法人東京都公園協会 / リシュモンジャパン（株） （株）資生堂 / （株）ウッディーコイケ / エフティーエス（株） / 日本コムシス（株） / （株）自然教育研究センター サッポロ不動産開発（株） / 須藤石材（株） / 東急不動産住宅リース（株）
大使館	イスラエル大使館 / メキシコ大使館
教育施設	学校法人豊沢学園渋谷同胞幼稚園 / 社会福祉法人至誠学舎立川代々木至誠こども園 学校法人聖心学園聖心学園幼稚園 / 聖公会神学院
社寺仏閣	銀杏岡八幡神社 / 寿昌院 / 小村井香取神社 / 熊野神社 / 寛永寺 / 豊川稲荷・東京別院 / 聖輪寺

株式会社トシ・ランドスケープ

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-12
MAIL：info@toshilandscape.co.jp
TEL：03-3442-8491
FAX：03-6277-0377
https://toshilandscape.co.jp/
2026年10月現在

本冊子に掲載されている文章、画像、イラスト、レイアウト等の著作権は、すべて弊社に帰属します。
営利・非営利を問わず、複製、転載、転用、改変、配布等の行為を固く禁じます。